

北広島町 定住者の声



▲9月から建て始めた15棟のハウスの前で。依さんは『ハウレンソー一本でやっていく。』と力強い言葉でおっしゃっていました。これからビニールを張る作業になるそうです。

移住のきっかけは？

私は専門学校を卒業後、広島市内でホテルの経理事務をしていました。もちろん仕事にやり甲斐も感じていましたし、頑張っていました。そんな中、次第にもっと成果の見えることがしたいと思うようになってきたんです。震災もきっかけになりましたね。自分の中で、『食べる物は自分で作りたい。農業をやりたい。』という思いが強くなり、事務を辞めて島根県内の農業法人で働き始めたんです。そこで、北海道の大学で農業を学んだ奥さんと出会いました。その後、自身で農業経営をするために色々ネットで調べていたところ、北広島町の《新規就農研修制度》を見つけたんです。



▲最近、ご主人が一人で建てた作業場とのこと。
真新しいビニールがピカピカつやつやしています。



▲大朝地域の田んぼを借りて栽培を開始します。実際に就農するのは平成28年3月の種まきからです。

🐱 北広島町の印象は？

私の実家は島根なんですけど、そこよりは都会だなあと（笑）。店があるし、何ととってもコンビニがありますからね（笑）。（幸斗さん）

🐱 苦労したことは？

出身が愛媛県で雪には縁がなかったので、雪道の運転は怖いし苦労しますね。（寛子さん）

🐱 北広島町の魅力は？

人が親切であったかいいところかな。自然がいっぱいなところも魅力ですね。（お二人）

🐱 ご近所とのおつきあいは？

私たちの住まいは住宅が10件ぐらい集まっていて、同年代の若い家族が多いんです。地域の行事の後にはみんなでバーベキューをすることもあります。

🐱 幸せを感じるひときは？

嫁と二人で農作業をしているときかな（笑）。（幸斗さん）

仕事を終えて家に帰って、ほっと一息ついてるとき。庭に咲いている花を見ながらゆっくりのんびりする時間ですね。（寛子さん）

🐱 移住を検討している方へのメッセージ

自然がいっぱいという魅力がありながらもすぐに都会に出られるという、一言でいえば『便利な田舎』です。ぜひ一度、北広島町に来てもらえたらと思います。



▲喧嘩することもあるとはいえ、さすがが新婚さん。仲の良い様子が伝わってきました。



キリッとさわやかな人柄の幸斗さん。

昔も今も野球少年だそう。スポーツが大好きで、昔はマラソン大会に出場したりも。

『以前、経理事務で培った経営管理のノウハウを今後の農業経営に活かします。』と力強く語ってくれました。

ほんわかった雰囲気寛子さんは現在、農家さんのところにパートに出ているそう。

来年は、このハウスにたくさんのホウレンソウが育って、忙しく働いているお二人の姿が見られるのでしょうか。



たわら こうと

俵 幸斗 30代

仕事：農業

ひろこ

寛子 20代

仕事：農業

移住前：広島市

現住所：北広島町志路原

移住年月：平成26年4月

